



公式ホームページ



公式SNS (X)

2025,03,07

No. 199

## 相次ぐ、事故・事象・不祥事

# JR東日本への信頼は危機的状況

## JR東日本の企業ガバナンスを確立し、 鉄道の安全性再確立と信頼回復に向け、要請書を提出!



公式ホームページ



公式SNS (X)

2025,03,06

No. 197



公式ホームページ



公式SNS (X)

2025,03,05

No. 195

### 相次ぐ信頼を損なう事象

#### 2024年9月 輪軸圧入データの改ざん

車輪に車軸をはめ込む「輪軸組み立て作業」をめぐって東京総合車両センターで圧入力値の改ざんなどがあったとして、鉄道事業本部長を務める副社長がけん責処分。  
 現場から声をあげるも「安全性に問題はない」として公表せず。

#### 2025年2月 モーターの不正点検

「全般検査」を行った際にモーター部品に傷がないか確認する探傷検査が必要だが、検査に必要な機械が故障した2024年1月から今年2月までの1年あまり探傷検査をやらないまま、検査に合格させていた。

#### 職場と自治体で進めていた広報誌への 記事掲載の取りやめを一方的に連絡

福島県楢町の広報誌に、水郡線統括センター社員が紹介される記事の作成を自治体と職場で進めるも、掲載取りやめについて直接外向いて説明することなく、電話のみで対応。

#### 2025年3月 グループ会社『アトレ』

#### 独占禁止法違反の疑いで公正取引委員会より警告

商業施設に入るテナントに対し、今年4月から「JREポイント」の運営費用の一部を負担するよう取引条件を一方的に変更。テナントと協議をせず取引条件を変更した行為が、独占禁止法上の「優越的地位の濫用」にあたる恐れ。

JR東日本において企業ガバナンスを問われる事象が相次いで発生しています。企業ガバナンスにおいてもっとも重要なことは透明性のある企業経営が行われているか否かであり、企業には企業価値を高めるため健全な企業文化をつくり出していく責任があります。

輸送サービス労組は夏季手当の支給を求める申33号の団体交渉においても、企業ガバナンスの崩壊について指摘しました。

企業ガバナンスが崩壊したことによって、安全を脅かし、利用者や地域からの信頼を失い、社員の働きがいや奪われている現状は、ステーキホルダーの利益を損ねている状況と言え、それは会社の掲げる「四方よし」の経営からかけ離れています。

**企業ガバナンスを確立することは、経営責任だ!**  
**輸送サービス労組は健全経営の実現に向け、取り組みを強化します!**

企業ガバナンス崩壊  
 チェック機能を果たし、  
 信頼低下に歯止めを

昨年9月に引き続き

# 重大インシデント発生

安全に安心して鉄道を利用して頂けるよう  
 健全な企業と安全再確立に向けて取り組みます



▲ 列車分離し緊急停止したこまち・はやぶさ21号 (2025年3月6日/上野・大宮間)

3月6日11時30分頃、東北新幹線 上野・大宮間走行中のこまち・はやぶさ21号で「列車分離」が発生しました。事象対応にあられた仲間のみなさんの労をねぎらうと同時に利用者に多大なご迷惑をおかけしたことをお詫びします。

昨年9月19日JR東日本の新幹線で初めて「列車分離」が発生した前代未聞の事象からわずか半年後の同種事象です。私たち輸送サービス労組は労働組合の立場から短期間で重大事故が連続発生した問題性を鑑み、今事象発生に至るすべての要因解消に向けて全力で取り組みます!



重錘ロッド破断による架線垂下による感電事故・保守用車の油漏れ・  
 2回ものパンタグラフ損傷など事故・事象が拡大し続ける状況は、  
 JR東日本始まって以来の危機であると言わざるを得ない!  
 地域や利用者に限らず、社員を含めた全てのステークホルダーに  
 信頼され愛されるJR東日本を創造することが今、求められている!